

岩手医科大学附属病院【大学病院機能強化推進事業】

～医療DX・遠隔医療基盤を活用した大学病院機能強化と地域医療支援体制の構築～



事業概要

岩手県の医療偏在と医師負担増に対応するため、医療DXと遠隔医療基盤を整備し、業務効率化・研究時間確保・経営基盤強化を実現することで、大学病院機能と地域医療支援体制を持続的に強化する事業

補助金を活用した取組

大学病院の機能強化の取組

1.医療DX基盤の整備と業務効率化

- 医療DXの推進により、医師の事務負担を軽減し、研究・教育に充てる時間を創出

2.遠隔医療、地域医療連携体制の強化

- オンライン診療体制の構築により、医師、患者の移動負担軽減や地域医療の均てん化

3.研究・教育基盤の強化と経営改善

- 研究時間の確保と経営基盤の安定化を両立させ、大学病院の使命を持続的に遂行する体制を構築

4.地方医科大学による研究推進ネットワークの活動

- 埼玉医科大学・産業医科大学との、研究交流や設備共同利用を通じ共同研究の創出と研究力を強化

地域との連携強化の取組

1.地域医療構想に基づく医療機能分化への参画

- 重症患者の受入、救急医療、専門治療を集約し、地域医療機関との役割分担を明確化

2.大学病院における人材の確保・育成

- 医療DX推進による研究時間確保を通じ、医師が教育・研究に専念できる環境を整備

3.地域医療機関への組織的な医師輩出・交流

- 理事長のガバナンスの元、診療科単位で計画的に医師を派遣し、地域の医療提供体制を支える

4.持続可能な医療提供体制の構築

- 遠隔医療・情報共有体制を構築し、医療アクセスを改善。患者フローの最適化により地域完結型医療を実現

①教育・研究・高度医療の質向上

- ・ 研究・教育・高度医療に専念できる時間と環境を確保し、大学病院としての機能を継続体に発揮しうる運営体制を構築

②地域医療支援モデルの構築

- ・ 専門医アクセス、医師偏在、災害・感染症対応等の課題に応える地方医科大学モデルの確立

③大学病院経営基盤の確立

- ・ 自立的に運用可能な経営改善サイクルを確立
- ・ 研究・教育・高度医療への再投資